

○笠懸地区検討委員会 第4回委員会の協議内容と得られた方向性について

〈協議①〉 給食提供方式について	
意見の概要	①センター方式の学校でも自校方式の学校と変わらず、子どもの好きな給食や食育に関する掲示物が廊下に掲示されていた。自校方式でなくても補い方によっては補う方法があると感じた。だから自校方式にこだわる必要はないと思った。 ②大間々の給食センターの給食を試食する機会があったが、とてもおいしくいただいた。学校とコミュニケーションもとり、好きな給食ランキングや苦手・ワースト1位の料理などが子どもたちにも紹介されている。給食センターなりに工夫していると感じた。 ③昔ははっきりと学校で作る給食がおいしいという印象があった。でも、今の技術を考えてどちらも温かいまま届くでしょうし、クオリティの差に心配はないと思う。 ④自校方式とセンター方式の一番大きな差は、そこに作る人がいるということ。子どもにとってそこに自分たちが食べるものを作る人が存在していて、その人たちと行き交うということがおいしさにつながるのではないかと。給食を作る人がいて、その人と挨拶をしたり一緒に掃除をしたりする交流そのものが、味以上に値打ちがあるのではないかと。 ⑤給食センターの給食は食べてみたい。今後はセンター方式に移行するだろうということは耳にしていたので、興味をもっている方は他にもいると思う。自校方式の学校で給食センターの給食が食べられる試食会があると体験しやすいと思う。全然変わらないことが分かれば地域の方の意見も変わってくると思う。 ⑥本当にやろうと思っていろいろ意見を出せば、音や匂いの問題もできなくはないと思う。例えば匂いについては、調理の匂いでなくても、給食が届いたときに匂いが漂ってくるような経験ができるように工夫できると思う。また、作ってくれる方だって、頻繁に学校を回ってくだされば交流もできると思う。

	⑦笠西小に自校給食の給食室を造ってほしいという親の意見が相当強く、SNS 上では「行政はまったく聞く耳をもたない」などいろいろな意見が出ていてかなり盛り上がっていた。だから、私たちがここで結論を出すと、今度は私たちがそれを引き受けることになる。そうになると少しこわい。 ⑧センター方式にしていきたいというみどり市の方針を、「自校方式がいい」と言っている方にどれだけ納得してもらえるか、それだけだと思う。「どちらにする」という段階ではない。 ⑨どちらがおいしいという議論をする必要はないと思う。健康面や栄養摂取などいろいろ考えた中で「冷たくて全然おいしくないよ」となれば話は別だが。センター給食を食べて「おいしかった」という感想を持っているならそれで OK ではないか。笠西小の高学年の子たちは両方の給食を食べているが、何か問題が起きたという話は聞いたことがない。以前の委員会で、子どもたちは普通においしいと言っているからいいのではないかという意見もあった。だからどっちがおいしいを求める必要はない。
	
得られた方向性	①この委員会の中で、現在自校方式の給食を食べている子どもやその保護者に納得してもらえるようなワンアクションを行い、方向性を示していく。 →自校方式とセンター方式両方の給食試食会を実施する。

〈協議②〉 少子化に対応した魅力ある学校づくりについて	
	
○委員会終了時刻を過ぎたため、第5回委員会にて協議する。	